

令和2年度学校評価における自己評価

真岡高校定時制

○ 本年度の重点目標の達成に向けた取組状況や達成状況

<本年度の重点目標>

- ア 様々な教育活動を通じて真の「教養」を身につけさせ、生きる力を育てる。
- イ 一人一人の生徒の主体的な行動力を高め、「自尊心」「自負心」を育てる。

<努力点>

- ア 生徒の確実な成長を促す指導・援助の具体的実践。
- イ 教科指導力を高めて、生徒の基礎学力の向上と進路希望の実現を図る。
- ウ 集団内における役割と責任の遂行、その承認を通じて自己有用感の高揚を図る。
- エ 部活動及びホームルーム活動・生徒会活動・学校行事等の特別活動を積極的に奨励推進する。

○ 自己評価

<本年度の重点目標について>

アについて

- ・今年度は、コロナ禍で様々な制約はあったが、各種講演会や生活体験発表会、修学旅行、地域清掃ボランティア活動、体育大会、生徒会行事など、様々な学校行事を実施することができた。生徒対象の学校評価アンケートでも、93%の生徒が「学校行事が充実している」と回答している。今後とも、日々の授業はもちろんのこと、様々な教育活動を通じて、生徒の自主性や思考力、判断力、行動力等を育成していきたい。

イについて

- ・月例の教育相談情報交換会や生徒アンケート等を活用して、全教員が生徒の心のケアに努めるとともに、年5回の個人面談等を通して、一人一人の良さを認めながら、生徒が自己理解を深めて、日常生活を改善したり、将来の目標を明確化したりできるよう指導、支援している。その結果、生徒の93%が「一人ひとりの生徒を大切にしたい指導を行っている」、91%が「悩みや相談に親身になって応じてくれている」と回答している。また、様々な困難を抱える多様な生徒が在籍している本校であるが、「入学して良かった」と回答した生徒は97%に上っている。今後とも、生徒一人一人に「目をかけ、手をかけ、心をかける」指導に努め、「自尊心」「自負心」の育成に繋げたい。

<努力点について>

アについて

- ・生徒指導について、生徒は「生徒指導は高校生として適切な内容である(95%)」、「服装頭髪の指導は適切に行われている(95%)」と肯定的に評価しており、「校則やルールを守って行動している」との回答は98%である。今後とも生徒の成長を促す指導・援助の充実に努めたい。

イについて

- ・学習指導について、生徒は「分かりやすい授業を行っている(100%)」「授業科目は進路実現にあっている(95%)」「基礎学力向上の取組は十分(82%)」と肯定的に評価しており、「学習にまじめに取り組んでいる」と回答した生徒は86%である。今後とも教材研究を進め、生徒の興味関心を喚起しながら、基礎学力の向上を図りたい。
- ・進路指導について、生徒は「適切な指導を行っている(93%)」「個別指導をよく行っている(91%)」と肯定的に評価しており、今年度も進路決定率100%を達成した。今後とも進路に関する情報提供や個別指導の充実を図るなど、生徒、保護者の期待に応える進路指導を行いたい。

ウについて

- ・学校行事等において、発表や挨拶、運営等の役割を分担し、できるだけ多くの生徒が活躍する場面を設けたり、意見交換の機会や学年を超えた交流の機会を設けたりすることができた。

エについて

- ・「部活動や生徒会活動が活発」と回答した生徒は91%。部活動については、定通総体は中止となってしまったが秋季大会ではサッカー部が準優勝するなどの成果を挙げた。定時制祭や予餞会などの生徒会行事については、生徒の主体的な活動や積極的な参加を進めることができた。